

評価問題例

1 すすむ君は漢字テストを3回行いました。1回目は82点、2回目は75点、3回全ての平均点は80点でした。3回目のテストは何点ですか。

(解答)
3回のテストの合計点は $80 \times 3 = 240$ 点
2回目までの合計は $82 + 75 = 157$ 点
3回目の点数は $240 - 157 = 83$ 点

2 クラスで算数テストを行い男子18人の平均点は76点、女子12人の平均点は81点でした。クラス全体の平均点は何点ですか。

(解答)
男子の合計は $76 \times 18 = 1368$
女子の合計は $81 \times 12 = 972$
全体の平均は $(1368 + 972) \div 30 = 78$ 点

3 10歩で平均5m歩く人がいます。
(1) 100歩歩くと何m歩くことになりますか。
(2) 1km歩くと何歩歩いたことになりますか。

(解答)
(1) 1歩の長さは $5 \div 10 = 0.5$ m
100歩では $0.5 \times 100 = 50$ m
(2) 1km = 1000mだから
 $1000 \div 0.5 = 2000$ 歩

評価問題のポイント

- 平均点をもとに3回のテストの合計得点を求める。次に2回目までの合計点を求めて、その差が3回目の得点となる。 $(1 \text{ 回目} + 2 \text{ 回目} + 3 \text{ 回目}) \div 3 = 80$ であるという平均の考えを活用して考える問題である。
- 本時で学習した、いくつかの部分の平均から全体の平均を求める問題である。全体の合計を求めてから、人数でわる平均の考えの基本に立ち返って問題を解く。児童の実生活に近い形の得点設定にしたため、計算が少し難しくなっている。
- 平均を利用するよさに関する問題である。教科書の問題では1歩の平均と歩いた歩数から距離を求める問題としているが、ここでは、何歩歩いたかを求める問題としている。昨今の健康ブームもあって1km歩くと何歩かとか、10000歩で何km歩けるかなどは、日常に照らして考えられる課題である。
歩数1kmを1000mに換算して考えることもポイントの一つである。